

午後 II 試験

全問に共通して、“論述の対象とする構想，計画策定，システム開発などの概要”又は“論述の対象とする製品又はシステムの概要”が適切に記述されていないもの，“①名称”が論述内容と整合性が取れないものが散見された。これらは，評価の対象となるので，矛盾が生じないように適切な記述を心掛けてほしい。また，IT ストラテジストとして基本的に理解しておくべき用語について，正しく理解されていないと思われる論述が散見された。特に，ビジネスモデルとビジネスプロセスを混同したり，間違った理解をしていたりと思われる論述も散見された。

IT ストラテジストの経験と考えに基づいて，設問の趣旨を踏まえて論述することが重要である。問題文及び設問の趣旨から外れた論述や具体性に乏しい論述は，評価が低くなってしまうので，注意してもらいたい。

問 1（事業目標の達成を目指す IT 戦略の策定について）では，事業目標の達成を目指して IT 戦略を策定した経験がある受験者には，論述しやすかったと思われる。一方で，ビジネスプロセス改革，IT 導入に終始している論述も少なくなかった。また，達成を目指す事業目標，実現すべきビジネスモデル又はビジネスプロセス，有効な IT の関連が明確でない論述も散見された。IT 戦略とは何かを認識し，実践での経験を積んでほしい。

問 2（新しい情報技術や情報機器と業務システムを連携させた新サービスの企画について）では，新技術と業務システムを連携させた新サービスの企画を行った経験がある受験者には，論述しやすかったと思われる。一方で，事業戦略を実現するために，どのようなビジネスモデル又はビジネスプロセスを検討したかを具体的に論述せず，システム機能中心の論述に終始しているものも散見された。また，企画に必須である投資効果について，前提条件，算出根拠や実現可能性などを具体的かつ定量的に記述できていない論述も少なくなかった。投資効果の算出方法について理解し，実践で深く検討する経験を積んでほしい。

問 3（組込みシステムの製品企画戦略における市場分析について）では，市場への新製品の投入が活発化している状況において製品を企画する際，投入する市場を的確に分析し，その分析結果から適切な製品投入戦略を立案することについて論述を求めた。多くの論述は，投入市場に適合する分析手法を理解し，それに沿った適切な戦略の立案を論じていた。一方で，どのように調査したかの論述がないもの，分析について触れられず単に市場占有率などの結果だけを説明した論述も散見された。